

砧モデル地区デマンド型交通における 実証運行の検証結果・本格運行について

目次

1 実証運行の検証結果について

- (1) 実証運行の実施状況
- (2) アンケート結果のまとめ
- (3) 実証運行の評価・総括

2 本格運行の実施について

- (1) 運行概要(予定)
- (2) 令和8年度における利用者数及び収支状況(見込み)
- (3) 本格運行の目標(案)及び継続可否について

1 実証運行の検証結果について

(1) -1 実証運行の実施状況(令和7年8月末時点)

地域と連携した、継続的な周知活動や、利用者のニーズを踏まえた上で、地域の特性に合わせながら、運行面や予約システムの条件設定の改善を重ねた結果、徐々に利用者数が増え、2年目以降、40名程度の方にご利用いただいている。

評価項目	1年目 (R5.5~R6.4)	2年目 (R6.5~R7.4)	3年目 (R7.5~R7.8)
地域との連携	広報活動など	広報活動など	広報活動など
WEB登録者数(延べ)	912人	1,349人	1,472人
乗車割引証発行数(延べ)	525枚	647枚	682枚
1日あたりの利用者数	37人	43人	40人
年間利用者数(延べ)	5,707人	6,600人	2,050人 (7,730人 ※1)
乗合率	26.2%	26.6%	27.0%
収支率	9.0% (17.1% ※2)	11.0% (18.9% ※2)	12.9% (19.2% ※2)
地域からの支援(運営協賛・広告)	85,000円	615,000円	377,000円

※1：10月からの週5日運行を反映した令和8年4月末における見込み

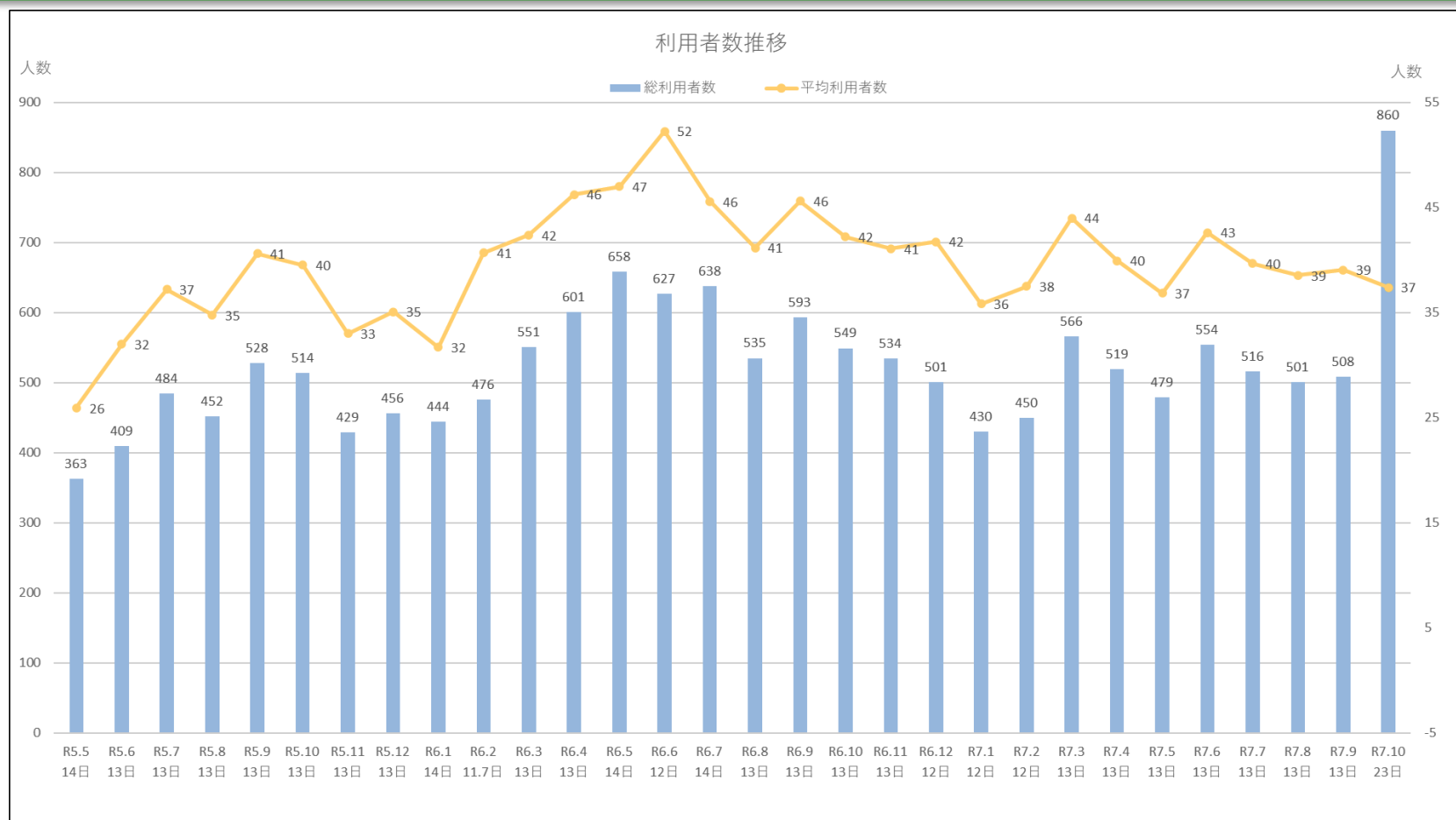
※2：70歳以上の割引を適用しない場合の収支率

1 実証運行の検証結果について

(1) - 2 実証運行の実施状況(月間・1日あたりの利用者数)

運行開始以降、月間利用者数は約400人から約650人、1日あたりの利用者は約40人前後で推移している。

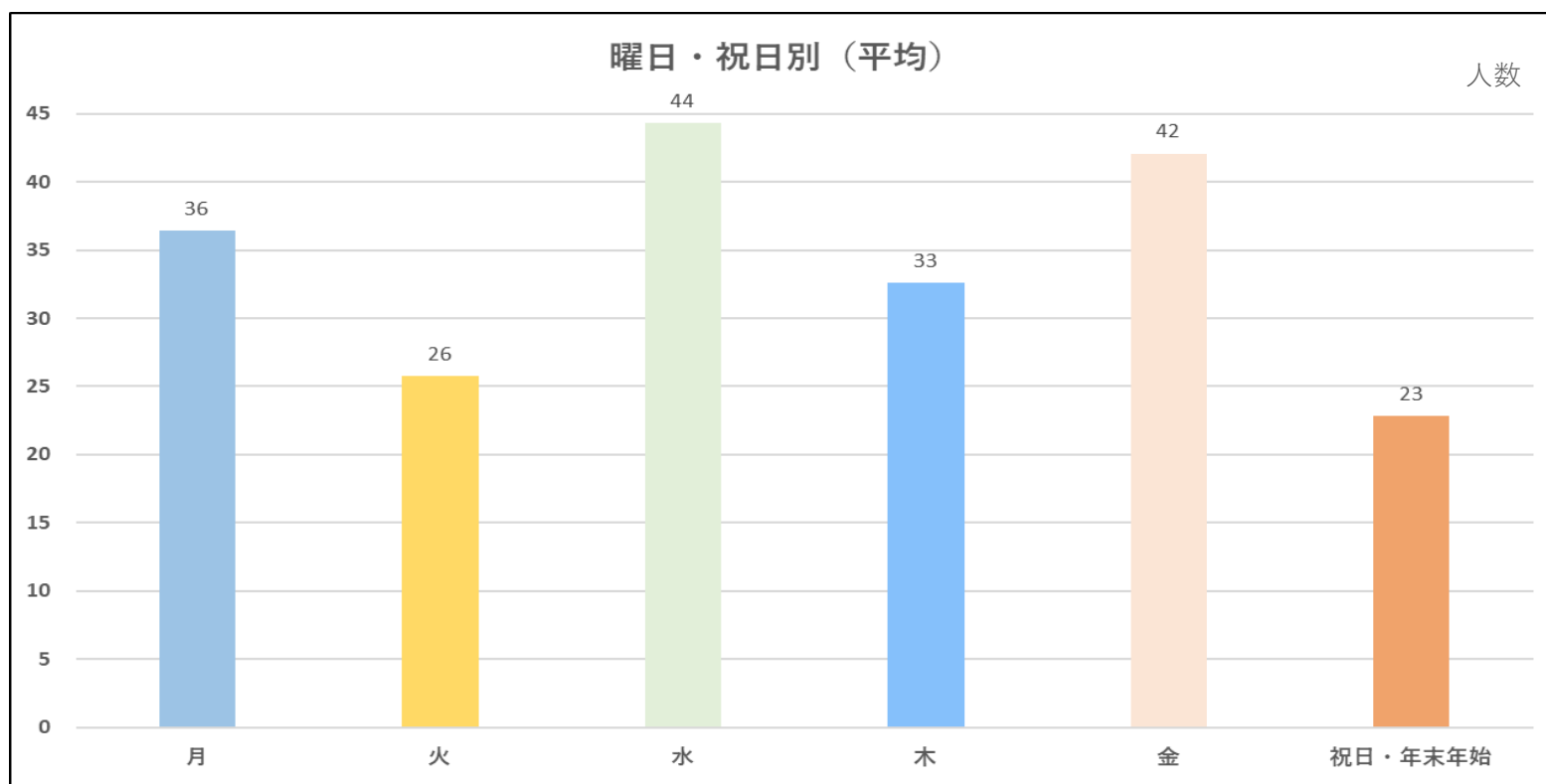
令和7年10月から週5日運行に拡充し、1日あたりの利用者数は37人、同月の月間利用者数は860人であった。



1 実証運行の検証結果について

(1) - 3 実証運行の実施状況(曜日・祝日別の利用状況)

曜日別では、水曜日が最も多く、火・木曜日は、令和7年10月から運行を開始したばかりであるため、今後も継続的な周知活動を通じて、利用者の定着や拡大を図っていく。



※1 月・水・金曜日、祝日・年末年始：令和5年5月～令和7年10月の実績
(※年末年始の運行：1年目のみ)

※2 火・木曜日：令和7年10月のみの実績

1 実証運行の検証結果について

(1) - 4 実証運行の収支状況

収支状況は、依然として厳しい状況にあるが、運営協賛・広告の募集に取り組み、徐々に改善されている。

	1年目 (R5.5~R6.4)	2年目 (R6.5~R7.4)	3年目 (R7.5~R7.8)
①支出 ※1	10,510,000円	13,708,000円	5,156,000円 【19,871,000円※4】
②運賃収入	865,000円	890,000円	288,000円 【1,078,000円※4】
③運賃外収入 (運営協賛)	85,000円	230,000円	267,000円 【601,000円※4】
④運賃外収入 (広告)	—	385,000円	110,000円 【429,000円※4】
収支率 (②+③+④/①)	9.0% (17.1% ※3)	11.0% (18.9% ※3)	12.9% (19.2% ※3) 【10.6% ※4/ 16.9% ※3】
公費負担額 (①-②-③-④) ※2	9,560,000円	12,203,000円	4,491,000円 【17,763,000円※4】

※1 人件費、システム利用料、コールセンター経費、燃料費、消耗品費

※2 現状のサービス水準での運行に必要な実質補填額

※3 福祉的支援により、割引証を提示した70歳以上の運賃を100円と設定しているが、割引を適用しない場合の収支率

※4 令和7年10月からの週5日運行を反映した令和8年4月末における見込み

1 実証運行の検証結果について

(参考)年度ごとの運営協賛・広告状況 (令和5年度)

運営協賛

企業・法人	金額
阿部整形外科	10,000円
医療法人社団 砧クリニック	10,000円
医療法人社団 le bois あんどうファミリークリニック	10,000円
行政書士長谷川憲司事務所	5,000円
田代内科クリニック	5,000円
つじこどもクリニック	10,000円
有限会社 丸城組	10,000円
米沢電気工事株式会社 東京支店	5,000円
個人	金額
匿名 (3件)	20,000円

広告 (未実施)

運営協賛	85,000円
企業・法人	: 合計 65,000円
個人	: 合計 20,000円
合計	85,000円

五十音順、敬称略

1 実証運行の検証結果について

(参考)年度ごとの運営協賛・広告状況（令和6年度）

運営協賛

企業・法人	金額
阿部整形外科	10,000円
株式会社 メモリード	5,000円
社会福祉法人 友愛十字会	30,000円
そしがや駅前耳鼻咽喉科クリニック	20,000円
田代内科クリニック	5,000円
長永スポーツ工業株式会社	5,000円
つじこどもクリニック	30,000円
東京中央農業協同組合	50,000円
ふじ内科クリニック	30,000円
個人	金額
匿名（6件）	35,000円
世田谷区きめた福祉の相談窓口職員有志	5,000円
世田谷区交通政策課一同	5,000円

広告

企業・法人名	金額
株式会社 メモリード	165,000円
有限会社 マスター	55,000円
レストラン・ル・ジャルダン 株式会社 世田谷サービス公社	55,000円
JKK東京	110,000円

運営協賛	230,000円	
企業・法人	：合計	185,000円
個人	：合計	45,000円
広告	385,000円	
合計	615,000円	

五十音順、敬称略

1 実証運行の検証結果について

(参考)年度ごとの運営協賛・広告状況（令和7年度）

運営協賛

企業・法人	金額
アトリエそら豆	5,000 円
阿部整形外科	10,000円
医療法人社団 上川会 上川クリニック	10,000円
医療法人社団 le bois あんどうファミリークリニック	10,000円
川上歯科クリニック 祖師ヶ谷大蔵	30,000円
公文式 砧教室	5,000円
社会福祉法人 友愛十字会	10,000円
そしがや駅前耳鼻咽喉科クリニック	30,000円
田代内科クリニック	5,000円
つじこどもクリニック	10,000円
東京中央農業協同組合	50,000円
有限会社 丸城組	10,000円
個人	金額
匿名（7件）	62,000円
世田谷区きめた福祉の相談窓口職員有志	10,000円
世田谷区交通政策課一同	10,000円

広告

企業・法人名	金額
レストラン・ル・ジャルダン 株式会社 世田谷サービス公社	55,000円
JKK東京	55,000円

運営協賛	267,000円	
企業・法人	：合計	185,000円
個人	：合計	82,000円
広告	110,000円	
合計	377,000円	

五十音順、敬称略

1 実証運行の検証結果について

(2) アンケート結果のまとめ

①実施期間

令和7年6月1日～7月31日

②実施目的

利用目的や利用することによる変化、利用していない理由などを把握するため。

③実施方法

ア)ワゴン車両内での配布

イ)WEB登録者あてにメール送付
(1,373名)

ウ)割引証発行者あてに郵送
(641名)

④回答数 766名

評価項目	利用状況・結果
運行サービスに満足している利用者の割合	76.3%
今後の利用意向	(利用したことがある方) 92.3% (利用したことがない方) 86.9%
目的地への所要時間が短縮した利用者の割合	86.0%
利便性が向上した利用者の割合	85.5%
通院負担が軽減した利用者の割合	73.3%
娯楽や余暇活動への機会が増加した利用者の割合	63.3%
歩く機会が増加した利用者の割合	45.1%
デマンド型交通を利用することで増加した歩く時間	30分
医療費抑制効果(見込み)	(年間) 約58万円～約64万円
日常生活の満足度や生活の質が向上した利用者の割合	80.0%
買い物に行く機会が増加した利用者の割合	60.6%
家族などの送迎負担が軽減した利用者の割合	74.8%
公共交通の利用が増加した利用者の割合	57.7%
他の人と交流する機会が増加した利用者の割合	32.6%

1 実証運行の検証結果について

(3) - 1 実証運行の評価

デマンド型交通の利用状況やアンケート結果などを元に、3つの視点から評価を行った。

① 地元協議会、砧まちづくりセンター等との協働による取組み

地域の多様な主体の協働によって生み出された地域のシンボルとして位置付けられ、地域と共に発展していく姿が見られている。

② 新たなコミュニティ交通による生活の質の向上

社会インフラであるコミュニティ交通を導入し、利便性を高めることで、地域住民の生活の質を向上させると共に、住みやすく、暮らしやすい社会の実現に寄与している。

③ 交通インフラがもたらす社会的効用

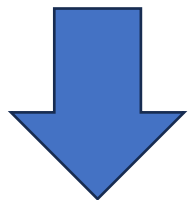
誰もが移動しやすい環境を整備することで、地域住民の外出機会を促進させ、消費行動の拡大といった地域経済の活性化、環境負荷の低減及び地球温暖化対策、地域住民のコミュニティづくりといった地域の交流促進など、さまざまな社会的な効用に繋がっている。

1 実証運行の検証結果について

(3) - 2 総括

誰もが安全・安心・快適に移動できるコミュニティ交通を導入し、持続可能な地域公共交通を実現することで、外出機会を促進し、地域住民の生活の質の向上や、地域の持続的な発展に結び付いている。

コミュニティ交通は日常生活と社会的交流を支えるツールであることから、今後、見込まれる超高齢社会や単身高齢者の増加等を踏まえ、住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるように、福祉の増進や地域の活性化、コミュニティづくりを促し、外出しやすい環境や住みやすい街づくりに寄与していく。



利用状況や収支状況、導入効果などを確認した結果、移動の手段にとどまらず、福祉・健康面や、地域の活性化など、多様な効果を得られたことから

令和8年4月1日から砧モデル地区デマンド型交通を
本格運行へ移行し、安全・安心・快適に移動できる環境を整備する。

2 本格運行の実施について

(1) 運行概要（予定）

①実施時期

令和8年4月1日～

※実証運行で得られた成果を踏まえ、当初の実証運行期間（令和5年5月～令和8年4月）の終了を早め、本格運行を開始する。

②運行形態

令和7年10月から開始した、週5日運行での利用状況を踏まえ、運行日を週5日運行とし、現在の実施内容のとおり運行する。（詳細は次ページのとおり）

③収入増に向けた取組み

本格運行開始に合わせ、令和8年4月1日から、**ふるさと納税制度**を活用し、幅広く寄附募集に取り組み、収支率の改善を図っていく。

また、クラウドファンディングの手法を活用した寄附募集についても、期間を指定するなど、今後、実施を検討する。

④支払い方法の拡充

令和8年4月より、現金、交通系ICカードに加え、地域デジタル通貨「**せたがやPay**」によるバーコード決済を導入予定。

2 本格運行の実施について

(1) -2 運行形態（詳細）

- ①運行区域 砧1～8丁目、大蔵1～3丁目
- ②運行日 週5日（月曜日～金曜日）
- ③運行時間 午前8時30分～午後7時
- ④運行態様 AIとワゴン車両を活用したデマンド型交通
- ⑤委託事業者 東急バス株式会社
- ⑥運賃 大人（中学生以上）：300円、小児：150円
70歳以上：100円（乗車割引証の提示が必要）、未就学児：無料
※障害者割引あり
- ⑦支払方法 現金、交通系ICカード、せたがやPay
- ⑧乗客定員 8名
- ⑨乗降地点 46か所
- ⑩予約方法 電話または専用予約サイト
(乗車希望日時の1週間前から利用日の30分前まで受付可能)
- ⑪運営協賛 個人：1口1,000円、法人：1口5,000円
- ⑫広告 車両内部：1枠16,500円～、車体：1枠44,000円～、
コミュニティ交通ニュース：1枠55,000円
- ⑬ふるさと納税制度を活用した寄附募集
 - ア) 寄附目標金額 1,000,000円
 - イ) その他：クラウドファンディングの手法を活用した寄附募集について、期間を指定するなど、今後、実施を検討する。

2 本格運行の実施について

(2) 令和8年度における利用者数及び収支状況(見込み)

	目標・見込み
①年間利用者数	9,252人
②支出 ※1	24,075,000円
③運賃収入	1,673,000円
④運賃外収入(運営協賛)	340,000円
⑤運賃外収入(広告)	660,000円
⑥運賃外収入(ふるさと納税)	1,000,000円
⑦収入合計(③+④+⑤+⑥)	3,673,000円
収支率(⑦/②)	15.3% (19.8% ※3)
公費負担額(②-⑦) ※2	20,402,000円

※1 人件費、システム利用料、コールセンター経費、燃料費、消耗品費

※2 現状のサービス水準での運行に必要な実質補填額

※3 福祉的支援により、割引証を提示した70歳以上の運賃を100円と設定しているが、割引を適用しない場合の収支率

2 本格運行の実施について

(3) 本格運行の目標(案)及び継続可否について

① 目標(案)

評価項目・利用状況・アンケート調査の結果から、「利用状況」「採算性」「福祉・健康面」「地域経済の活性化」などを踏まえて策定した「令和8～9年度における目標(案)」を基に、今後、目標を設定する。利用者アンケート調査を実施した上で、利用状況を分析・評価し、持続可能な公共交通を目指す。

令和8～9年度における目標(案)

項目	目標	項目	目標
WEB登録者数	1,700人	娯楽や余暇活動への機会が増加した利用者の割合	70.0%
1日あたりの利用者数	50人	歩く機会が増加した利用者の割合	50.0%
収支率	15.0%	デマンド型交通を利用することで増加した歩く時間	30分
運賃外収入(地域からの支援)	2,000,000円	医療費抑制効果(見込み)	(年間/最大値) 約127万円～約140万円
運行サービスに満足している利用者の割合	80.0%	日常生活の満足度や生活の質が向上した利用者の割合	80.0%
今後の利用意向	(利用したことがある方) 95% (利用したことがない方) 90%	買い物に行く機会が増加した利用者の割合	70.0%
通院負担が軽減した利用者の割合	80.0%	家族などの送迎負担が軽減した利用者の割合	80.0%

② 本格運行の継続可否

1日あたりの平均利用者数が現在の利用状況の半分である20人未満の状況が継続し、地元協議会や運行事業者等と協働した上で、利用者ニーズに応じた運行改善策や、利用促進策に取り組んだにもかかわらず、改善の見通しが立たない場合は、本格運行の終了を協議する。